



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社ジーンズメイト 上場取引所 東  
 コード番号 7448 URL <https://www.jeansmate.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富澤 茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 佐藤 信治 (TEL) 03(5738)5555  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,976	△6.5	86	△51.6	88	△52.9	62	△50.1
2019年3月期第2四半期	4,252	—	179	—	188	—	125	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第2四半期	4.35		—					
2019年3月期第2四半期	8.71		—					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,750	3,478	73.2
2019年3月期	4,722	3,416	72.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,478百万円 2019年3月期 3,416百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,850	3.1	175	91.5	185	76.0	85	325.6	5.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	16,101,466株	2019年3月期	16,101,466株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	1,728,301株	2019年3月期	1,728,281株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	14,373,171株	2019年3月期2Q	14,373,291株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながらアパレルファッション業界におきましては、4月の天候不順による春夏物の立ち上がりの遅れや、7月の記録的な低温による夏物の販売不振もあり、総じて厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社は今期より継続的に注力しているMDサイクル適正化に向けた取組み(タイムリーな売価変更を行うことで在庫と粗利率をコントロール)により、売上総利益率:50.7%(前年同期差+0.3P)、在庫原価前年同期末対比:85.1%(前年同期差△260百万円)となりました。併せて販管費削減の取組みにより、売上販管費比率は48.5%と前期から引き続き抑制傾向を維持出来ており、収益構造の改善が着実に現れております。

商品面におきましては、前期からの取組みであるランキングMD(展開商品をランキングに分けし、ランキング付けされた商品毎に奥行や打出しに強弱を設定)に今期も引き続き注力しつつ、並行して立地別MD(店舗タイプ毎の客層に寄り添った品揃え)強化にも取り組んだ事で、B.S.T(Blue Standard)やOUTDOOR PRODUCTS等のプライベートブランド(PB)アイテムで、当社独自のヒット商品を開発することが出来ております。

また、引き続き増加傾向にある訪日外国人旅行者の需要に応えるべく、Championを中心としてナショナルブランド(NB)のブランド数と展開数量を拡充し、並行して9月より免税対応店舗を全店に拡大(前年同期差+52店舗)した事で、免税売上が前年同期間対比:110%(前年同期差+47百万円)と堅調な推移となりました。

しかしながら、既存店売上高は4月・7月の天候不順による春夏物商品の販売不振の影響も大きく、前年実績を下回りました(前年同期比6.2%減)。

店舗展開におきましては、マルチブランド型MDショップ「JEM」(ジェイ・イー・エム)業態を2店舗、「OUTDOOR PRODUCTS」業態2店舗、合計4店舗を商業施設へ出店いたしました。これらにより、当第2四半期会計期間末の総店舗数は80店舗(うち催事契約2店舗)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,976百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益86百万円(前年同期比51.6%減)、経常利益88百万円(前年同期比52.9%減)、四半期純利益62百万円(前年同期比50.1%減)となり、減収減益ではあるものの前期から2期連続で第2四半期営業黒字化を達成しました。

なお当第2四半期累計期間においても、1人あたり売上高の増加、大幅な在庫削減による在庫回転率の上昇等、各種業績指標はいずれも改善傾向が続いており、事業の健全性は高まっております。

今後も、立地別MDの強化・MDサイクル適正化・60周年に向けた取組み等、各種重点施策へ注力する事で通期業績予想数値の達成を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ27百万円増加し、4,750百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ2百万円減少し、3,374百万円となりました。これは主に現金及び預金が82百万円増加しましたが、売掛金が78百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ29百万円増加し、1,375百万円となりました。これは主に有形固定資産が18百万円増加、敷金及び保証金が9百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ35百万円減少し、1,271百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ20百万円減少し、911百万円となりました。これは主に買掛金が143百万円増加しましたが、未払金が88百万円減少、賞与引当金が41百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ14百万円減少し、359百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ62百万円増加し、3,478百万円となりました。これは主に四半期純利益を62百万円計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前事業年度末に比べ82百万円増加し、1,485百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、171百万円(前年同四半期は245百万円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益が82百万円、仕入債務の増加による獲得が143百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、66百万円(前年同四半期は4百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が44百万円、敷金及び保証金の差入及び回収に伴う純支出が16百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、22百万円(前年同四半期は23百万円の支出)となりました。これは主にリース債務の返済による支出が22百万円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績についても概ね当初計画通り推移しており、2019年5月15日に公表いたしました通期業績予想から変更はしておりません。今後業績予想の修正が必要になった場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,474,352	1,557,012
売掛金	285,021	206,426
商品	1,504,664	1,481,867
その他	113,098	129,661
流動資産合計	3,377,136	3,374,968
固定資産		
有形固定資産	151,629	169,949
無形固定資産	8,285	7,335
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,180,334	1,189,823
長期未収入金	167,510	166,740
その他	5,553	7,963
貸倒引当金	△167,510	△166,740
投資その他の資産合計	1,185,888	1,197,787
固定資産合計	1,345,803	1,375,071
資産合計	4,722,940	4,750,040
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	411,973	555,902
未払金	263,271	174,849
賞与引当金	76,018	34,318
その他	181,112	146,918
流動負債合計	932,375	911,989
固定負債		
資産除去債務	296,378	302,057
その他	78,152	57,492
固定負債合計	374,530	359,550
負債合計	1,306,906	1,271,539
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,338,387	2,338,387
資本剰余金	2,448,009	2,448,009
利益剰余金	△109,036	△46,562
自己株式	△1,261,326	△1,261,332
株主資本合計	3,416,034	3,478,500
純資産合計	3,416,034	3,478,500
負債純資産合計	4,722,940	4,750,040

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,252,286	3,976,717
売上原価	2,109,478	1,960,042
売上総利益	2,142,808	2,016,675
販売費及び一般管理費	1,963,713	1,930,051
営業利益	179,095	86,624
営業外収益		
受取利息	3,516	10
受取賃貸料	3,875	—
その他	6,025	2,199
営業外収益合計	13,417	2,210
営業外費用		
賃貸費用	3,875	—
その他	622	300
営業外費用合計	4,497	300
経常利益	188,016	88,534
特別損失		
減損損失	23,180	5,140
店舗閉鎖損失	6,807	803
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,061	—
本社移転費用	8,885	—
特別損失合計	39,934	5,944
税引前四半期純利益	148,081	82,590
法人税等	22,898	20,117
法人税等合計	22,898	20,117
四半期純利益	125,183	62,473

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	148,081	82,590
減価償却費	4,698	14,004
減損損失	23,180	5,140
未消費税等の増減額 (△は増加)	62,985	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,069	△41,699
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△46,223	—
受取利息及び受取配当金	△3,516	△10
売上債権の増減額 (△は増加)	42,846	53,989
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,376	22,796
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,760	143,929
未払金の増減額 (△は減少)	△63,558	△29,695
未払消費税等の増減額 (△は減少)	—	△42,099
その他	29,257	△2,199
小計	278,205	206,745
利息及び配当金の受取額	5,160	10
法人税等の支払額	△38,289	△35,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	245,075	171,055
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△50,845	△44,044
無形固定資産の取得による支出	△8,417	—
資産除去債務の履行による支出	△55,591	△1,228
敷金及び保証金の差入による支出	△18,945	△28,608
敷金及び保証金の回収による収入	133,988	12,483
その他	△4,762	△4,871
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,573	△66,269
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△82	△6
リース債務の返済による支出	△23,523	△22,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,606	△22,055
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	△69
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	216,919	82,660
現金及び現金同等物の期首残高	538,365	1,402,352
現金及び現金同等物の四半期末残高	755,285	1,485,012



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。